

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

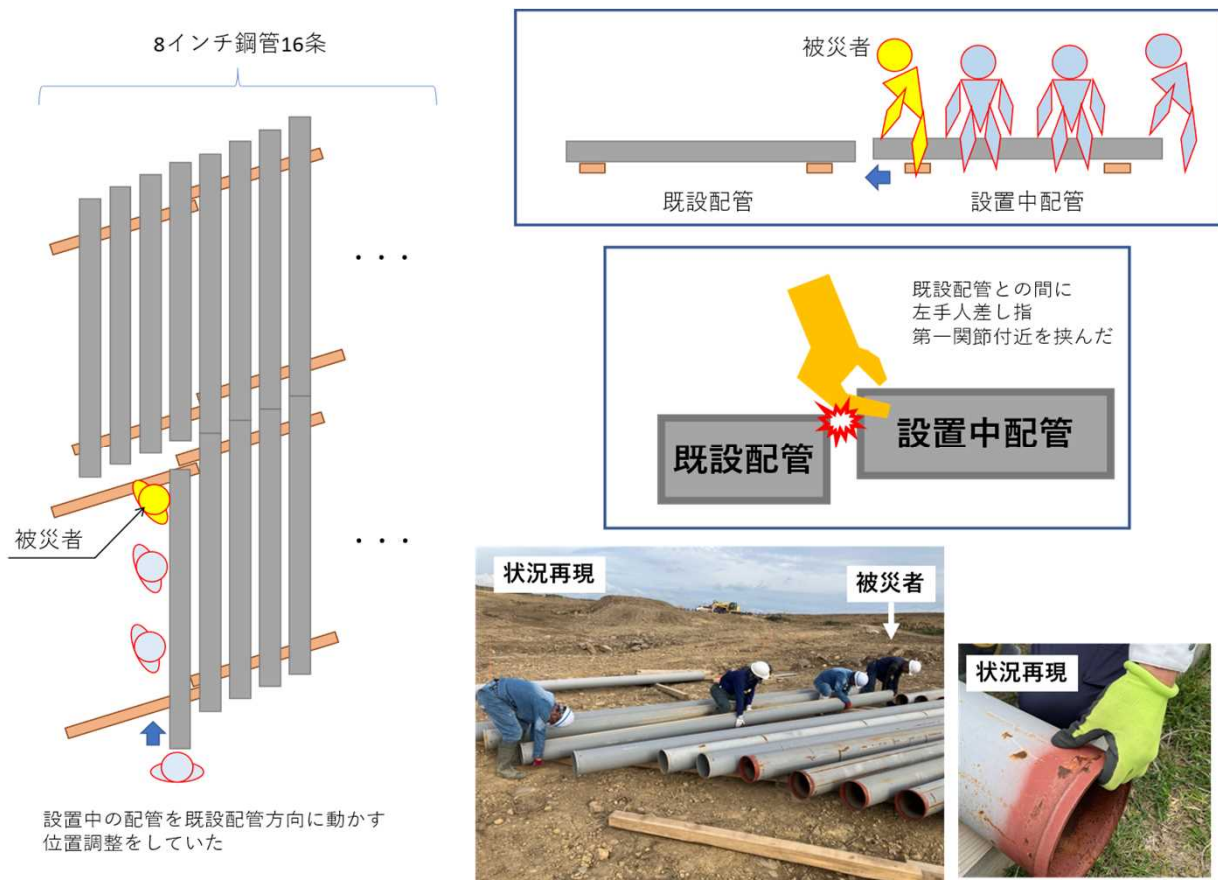
管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時 令和6年5月18日(土) 9時30分頃
作業内容 集水・放流配管の敷設作業
被災状況 左示指切創

II. 事故発生状況

- ・ 配管(径規格8インチ、全長6m、重量97kg)の敷設作業で、設置中の配管を既設配管に近づけて仮置きをする作業を4人で行っていた。
- ・ 掛け声を合図に設置中の配管を既設配管へ近づける際に、勢いが付きすぎて既設配管方向へ大きく移動し、設置中の配管と既設配管の間に左手人差し指を挟んだ。



事故発生状況の再現写真

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 被災時、配管の敷設作業を4人で行っていたが、声掛け、意思疎通が不十分で、あと何cm移動すればいいか、認識の統一ができていなかった。
【作業手順の不備】
- 2) 被災者は既設配管との間に手を挟む可能性がある管口部に手を置いていた。
【危険に対する認識不足】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) 新たに合図者を配置し、その合図により作業する。
配管を移動する作業の声掛けは、移動距離等具体的に伝達する。また、既設配管端部に当てがった栈木にあたるまでを移動距離とする。
【作業手順の改善】
- 2) 配管引込作業は、配管接続部をナイロンスリングを用いて持ち上げる手順とし、直接手で触れての作業はしない。【作業手順の改善】移動距離とする。
【作業手順の改善】

